

京都大学東南アジア地域研究研究所 第10回Visual Documentary Project 連携企画展

PEACE MASK PROJECT



展示 京都大学稻盛財団記念館1階 エントランスホール

2021 12.17 金 — 22 水 10:00~18:00

ワークショップ 京都大学東南アジア地域研究研究所 東棟1階 リサーチコモンズ

2021 12.19 日 13:00~17:00

登録 <https://tinyurl.com/ycyj589e>

「ピースマスク制作」ワークショップ 12月16日(木)17時までにご登録ください。(定員15名※うち、マスク制作の参加者は5.6人です。)



京都大学東南アジア地域研究研究所は、2021年12月18日(土)に第10回Visual Documentary Project(VDP)上映会および連携企画展を実施する予定です。VDPは、東南アジア出身の優秀な若手映像作家の育成と交流を目的として、2012年度より開始された事業です。毎年決まったテーマのもと、東南アジアおよび日本の映像作家から短編ドキュメンタリー作品を募り、国際審査委員による選考を経て入選作品5本を決定します。今年のテーマは『死と生と』です。

VDP公式サイト <https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp/vdp/vdp2021/>

今回のイベントの連携企画として、NPO 法人ピースマスクプロジェクト (Peace Mask Project) がピースマスクを展示します。ピースマスクプロジェクトは、人々にワークショップ、ピースマスクの展示を通じて、対話の機会を与え平和のビジョンの共有を促すことを目的に設立された NPO です。他との協調性、人ととの信頼を再確認し、人種や年齢、性別を超えた交歓の場を生み出すことが活動の目的でもあります。今回、稻盛財団記念館 1 階エントランスホールにて、参加者の顔の石膏型をもとに和紙を5層に貼り合わせ作った200個のマスクを展示する予定です。当該イベント期間中に、今年度の VDP テーマにあわせ、金明姫 Kim Myong Hee (ピースマスク創設アーティスト) と、ピースマスクプロジェクト理事長の Kim Kya (京都外国语大学) の両氏を招き、連携企画の一環として、12月19日13時~17時まで、東南アジア地域研究研究所東棟1階のリサーチコモンズにて「ピースマスク制作」のワークショップも開催する予定です。マスク制作の参加者5~6名の方を募集しています*。どなたでも参加できます。

*今回のイベントは参加型ですがコロナウイルスの影響により、中止する場合もありますので、ご了承ください。

お問い合わせ marioivanlopez[at]cseas.kyoto-u.ac.jp

主催 ロペズ・マリオ准教授(京都大学東南アジア地域研究研究所)

Kya Kim, NPO PEACE MASK PROJECT

ピースマスクプロジェクト

1580名のマスクを制作した先行プロジェクトである日韓ライフマスクプロジェクト(2000-2002)から20年に渡り、韓国、アメリカ、インド、スペイン、フィンランド、カンボジアなどでの数々のワークショップと展示を手がけ、近年では日中韓の若者のグループ(2014-2015)、カンボジアで対立関係にある若者のグループ(2018)、などを対象にワークショップを行ってきた。また、広島、長崎の被爆者の一世から四世までのマスクを制作(2015-2017)、タイ、バンコクの国連で展示(2019)する機会も得た。

PMP HP <https://www.peacemask.org>

2018年、タイ・バンコクの国連で開催された Peace Summit of Emerging Leaders 2018(新進気鋭のリーダーによるサミット 2018)に、ピースマスクプロジェクトが招聘され、基調講演、展示、ワークショップを行った。



CSEAS



PEACE MASK
PROJECT